
Technical
Information

操作表示パネル PC100G3
機能説明書

TI 71M07B00-01JA

◆ はじめに

■ 本書の概要

本書は操作表示パネルPC100G3について説明しています。ご使用にあたっては本書を十分にご参照ください。

■ 商標

本文中に使われている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権

本書の著作権は当社に帰属します。
コピー、第三者への譲渡、販売、頒布することを禁止します。

■ 戦略物資注意書

外国為替および外国貿易管理法による規制対象品を日本国外に持ち出す際には日本政府の許可が必要です。

◆ 表記上の約束について

■ シンボルマークについて

本書は説明する内容により、以下のようなシンボルマークを使用しています。



危険 …感電事故など、取扱者の生命や身体に危険が及ぶ恐れがある場合に、その危険を避けるための注意事項を記述してあります。



警告 …ソフトウェアやハードウェアを損傷したり、システムトラブルになる恐れがある場合に、注意すべきことがらを記述してあります。



注意 …操作や機能を知る上で、注意すべきことがらを記述してあります。



補足 …説明を補足するためのことがらを記述してあります。



参照 …参照すべき項目やページなどを記述してあります。

◆ 注 意

■ 本書に対する注意

- 本書は、最終ユーザまでお届けいただきますようお願いいたします。
- 本製品の操作は、本書をよく読んで内容を理解した後に行ってください。
- 本書は、本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり、お客様の特定目的に適合することを保証するものではありません。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載、複製することは固くお断りします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容について、もしご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、当社営業部、またはお買い求めの代理店まで、ご連絡ください。

■ 本製品の保護、安全および改造に関する注意

- 当該製品および当該製品を使用するシステムの保護・安全のため、当該製品を取り扱う際は、本書の安全に関する指示事項その他の注意事項に従ってください。
- 本書の指示事項に反する扱いをされた場合には、安全のための保護が損なわれることがあり、この場合、当社は一切、製品の品質・性能・機能および安全性を保証いたしません。
- 当該製品および当該製品を使用するシステムに対する保護・安全回路を設置する場合は、当該製品外部に別途用意するようお願いいたします。当該製品の内部に改造、付加することはご遠慮ください。
- 当該製品の部品や消耗品を交換する場合は、必ず当社の指定品を使用してください。
- 当該製品は原子力および放射線関連機器、鉄道施設、航空機器、船用機器、航空施設、医療機器などの人身に直接かかわるような状況下で使用されることを目的として設計、製造されたものではありません。人身に直接かかわる安全性を要求されるシステムに適用する場合には、お客様の責任において、当該製品以外の機器・装置を持って人身に対する安全性を確保するシステムの構築をお願いいたします。
- 当該製品を改造することは固くお断りいたします。

■ 本製品の免責について

- 当社は、保証条項に定める場合を除き、当該製品に関していかなる保証も行いません。
- 当該製品のご使用により、お客様または第三者が損害を被った場合、あるいは当社の予測できない当該製品の欠陥などのため、お客様または第三者が被った損害およびいかなる間接的損害に対しても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

目 次

◆ はじめに	i
◆ 表記上の約束について	ii
◆ 注意	iii
A. 操作表示パネル	A-1
A.1 概要	A-1
A.2 各部の名称	A-2
A.3 画面移行	A-3
A.4 エラー状態画面	A-4
A.4.1 ステータス	A-4
A.4.2 履歴	A-5
A.5 #パラメータ・#モニタ表示画面	A-6
A.6 #パラメータ設定画面	A-7
A.7 専用コマンド設定画面	A-9
A.8 テーブルデータ設定画面	A-10
A.8.1 編集設定	A-10
A.8.2 コピー	A-20
A.8.3 削除	A-21
A.9 I/Oモニタ画面	A-22
A.9.1 ハードI/O	A-22
A.9.2 ソフトI/O	A-22
A.10 I/O設定確認画面	A-23
A.10.1 ハードI/O論理確認	A-23
A.10.2 ソフトI/O入力初期値確認	A-24
A.10.3 端子割付確認	A-25
A.11 アブソリュートエンコーダ保守画面	A-26
A.12 バージョン表示画面	A-27
B. トラブルシューティング	B-1
B.1 おかしいと思ったら	B-1
◆ 改訂履歴	

A. 操作表示パネル

インテリジェントドライバDrvGⅢシリーズに接続して、ドライバの保守やパラメータ設定などに使用する操作表示パネルPC100G3についての説明します。

A.1 概要

操作表示パネルは、DrvGⅢドライバの〈CN1〉シリアルインタフェースコネクタ(RS232C/RS485)に接続して使用します。フロントパネルの〈RS-ID〉ロータリスイッチの設定状態によらず、RS232Cシングルチャネル通信状態になっています。ドライバが通電状態であっても着脱可能です。

操作表示パネルには、以下の画面が用意されています。

[エラー状態画面]

現在のエラー状態とドライバに記録されている過去のエラー履歴を確認することができます。

[#パラメータ・#モニタ表示画面]

#パラメータ、#モニタの内容を繰り返し表示します。

[#パラメータ設定画面]

#パラメータの変更を行うことができます。

[専用コマンド設定画面]

よく使われるコマンドを簡単な操作で発行できます。

[テーブルデータ設定画面]

内蔵コントローラの動作を記述するテーブルデータの編集、コピー、削除を行うことができます。

[I/Oモニタ画面]

ハードI/O、ソフトI/Oの接点状態を繰り返し表示します。

[I/O設定確認画面]

ハードI/O論理設定、ハードI/Oに割り付けていないソフト接点入力の初期値、および、ハードI/O端子割付状態を確認できます。

[アブソリュートエンコーダ保守画面]

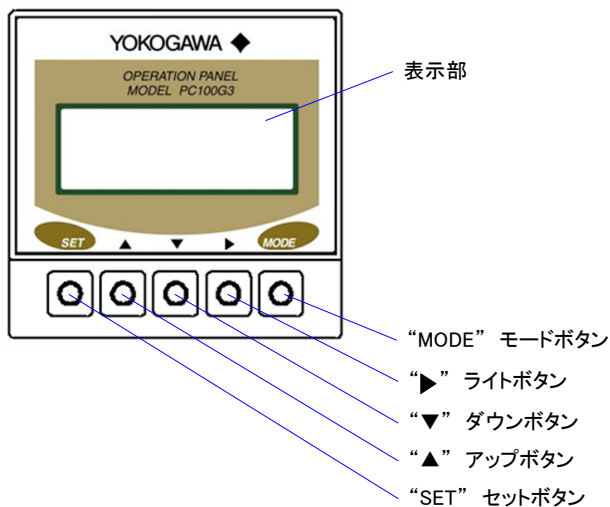
アブソリュートエンコーダを持つDB5Cモータの保守を行うための画面です。

[バージョン表示画面]

ドライバファームウェアコードと、製品(ドライバ)形名の一部を表示します。

#パラメータの設定・登録、テーブルデータの登録(編集設定、コピー、削除)、および、アブソリュートエンコーダスケール値の登録は、設定・登録許可状態でのみ行うことができます。パネル通電後に、専用コマンド設定画面にて設定・登録イネーブルコマンドを発行した後、設定・登録を行ってください。設定・登録許可状態は、パネル通電中、パネル内部に記憶されます。

A.2 各部の名称



“▲”、“▼”、“▶”は、1秒以上押し続けると、繰り返し同じ処理を行います。

“▲”： 上方向に画面を移行したり、カーソル上の数値を大きくするのに使用します。

“▼”： 下方向に画面を移行したり、カーソル上の数値を小さくするのに使用します。

“▶”： 右方向に画面を移行したり、カーソルを右に移動するのに使用します。

“SET”、“MODE”は、押し続けている時間により、機能が異なります。

本文では、1秒以下ではなしたときを“S”、“M”で、

1秒以上押し続けているときを“S”-LP、“M”-LP で表記します。

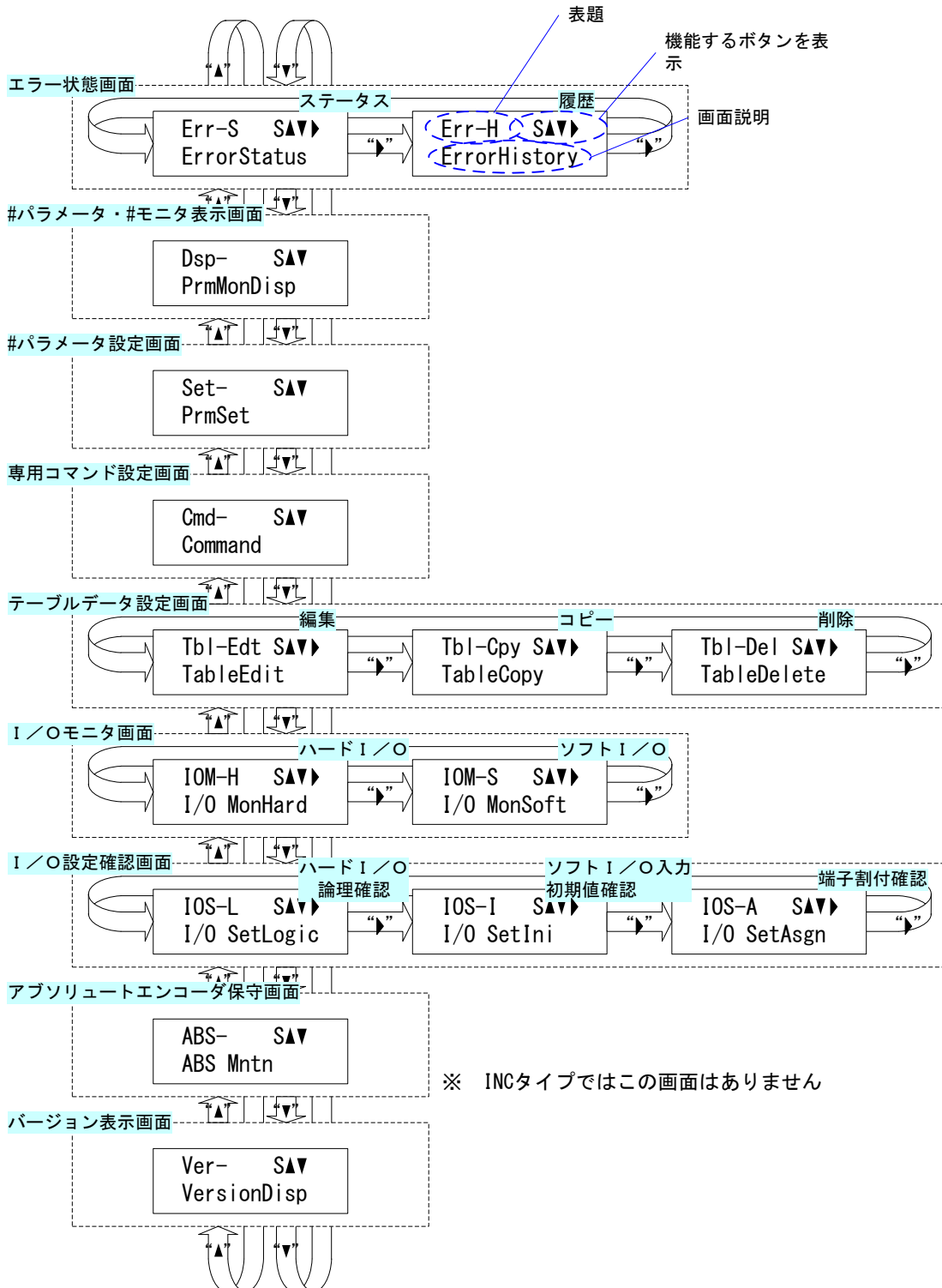
“SET”： 設定ボタンです。

“MODE”： モードボタンです。各画面で長押しすることにより、画面移行画面に戻ります。

A.3 画面移行

それぞれの画面は、下図のように移行します。また、電源を投入したとき、および、電源投入中に操作表示パネルを取り付けたときの初期画面は、エラー状態画面です。

- “S” : その画面内に入ります。
- “▲” : 上方方向に画面が移ります。
- “▼” : 下方方向に画面が移ります。
- “▶” : 右方向に画面が移ります。
- “M” : (機能しません)

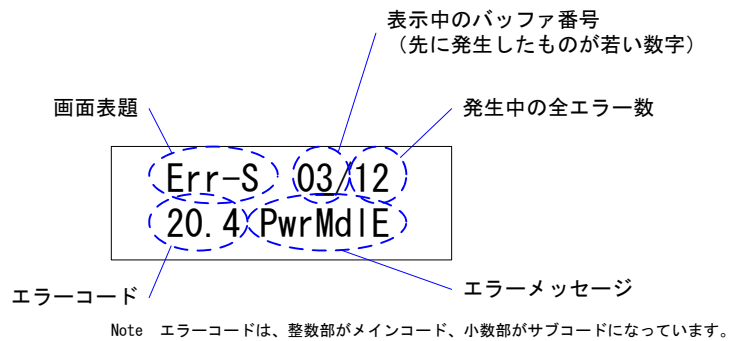


A. 4 エラー状態画面

A. 4.1 ステータス

ドライバから周期的（約200msec）にエラー状態を取得し、繰り返し表示します。
エラー状態バッファは 16個あり、エラーが発生してないときには何も格納されていません。エラー発生順に若いバッファ番号が割り振られます。エラーリセットすることにより、エラー状態バッファはクリアされます。

- “S” : (機能しません)
- “▲” : カーソル上の数値が大きくなります。
- “▼” : カーソル上の数値が小さくなります。
- “▶” : バッファ番号上のカーソルが右に移動します。
カーソルが 1位にあるとき押されると 10位に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。



上の画面は、以下のような内容を表示しています。

発生中のエラーは全部で 12個。そのうち、3番目に発生したエラーを表示していて、エラーコード 20.4、エラーメッセージは “PwrMdIE”。

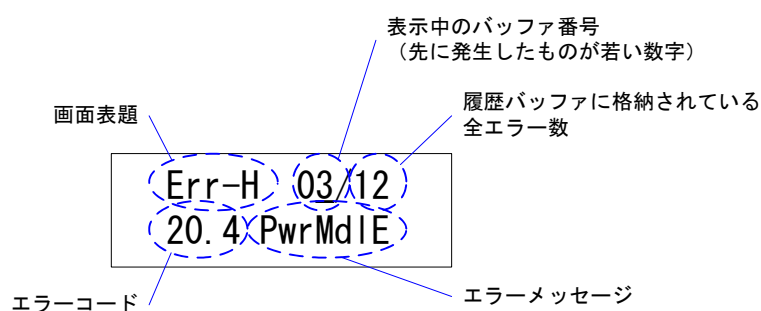
[エラーが発生していないときの表示]

```
Err-S 00/00
00.0 -----
```

A.4.2 履歴

ドライバから周期的（約200msec）にエラー履歴を取得し、繰り返し表示します。
 エラー履歴バッファは 16個あり、エラーが発生するたびに古いエラー内容が消去され、新しく発生したエラー内容が格納されていきます。エラー発生順に若いバッファ番号が割り振られます。エラーリセットしても、エラー履歴バッファはクリアされません。

- “S” : (機能しません)
- “▲” : カーソル上の数値が大きくなります。
- “▼” : カーソル上の数値が小さくなります。
- “▶” : バッファ番号上のカーソルが右に移動します。
カーソルが 1位にあるとき押されると 10位に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。



Note エラーコードは、整数部がメインコード、小数部がサブコードになっています。

上の画面は、以下のような内容を表示しています。
 履歴バッファに格納されているエラーは全部で 12個。そのうち、3番目に発生したエラーを表示していて、エラーコード 20.4、エラーメッセージは “PwrMdIE”。

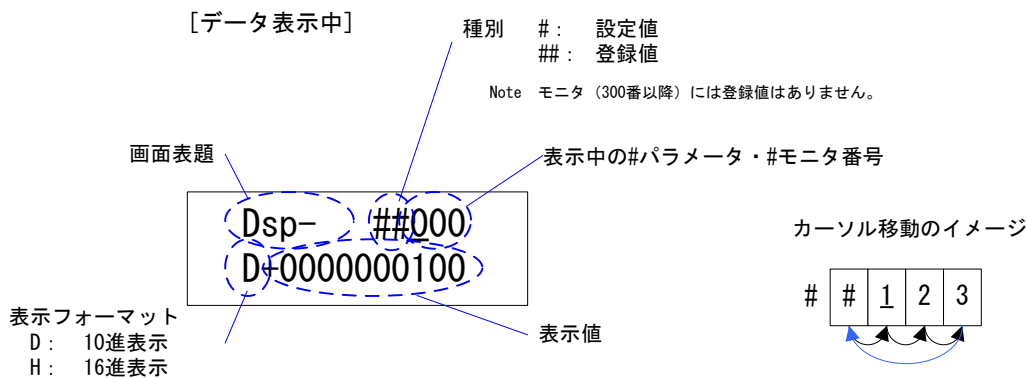
[エラー履歴に何も格納されていないときの表示]

```
Err-H 00/00
00.0 -----
```

A.5 #パラメータ・#モニタ表示画面

ドライバから周期的（約200msec）に指定された番号の#パラメータ・#モニタの現在値を取得し、繰り返し表示します。

- “S” : (機能しません)
- “▲” : カーソルが番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が大きくなります。
カーソルが種別上にあるときに押されると、種別が切り替わります。
- “▼” : カーソルが番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が小さくなります。
カーソルが種別上にあるときに押されると、種別が切り替わります。
- “▶” : #パラメータ・#モニタ番号上のカーソルが右に移動します。
- “M” : データ表示とプロンプト表示を切り替えます。
- “M”-LP : 画面移行画面になります。

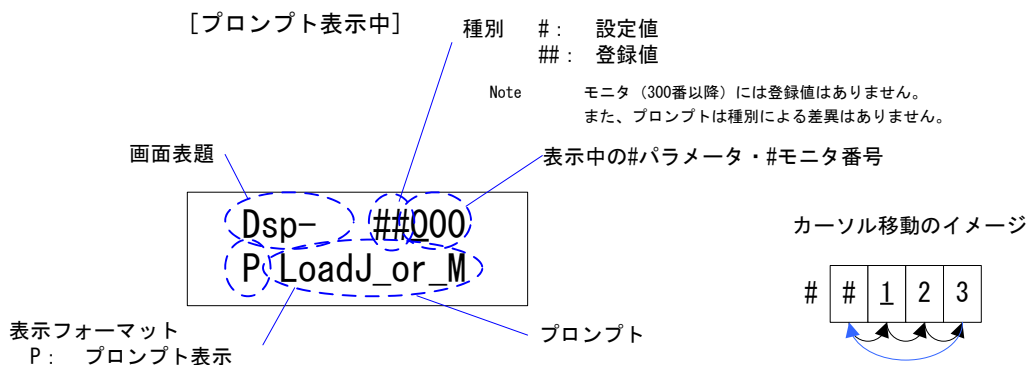


上の画面は、以下のような内容を表示しています。

パラメータ 0番の登録値を表示していて、その値は 10進表示で 100

[16進表示のときの表示]

```
Dsp- # 320
H 000301C1
```



上の画面は、以下のような内容を表示しています。

パラメータ 0番のプロンプトを表示していて、そのプロンプトは “LoadJ_or_M”

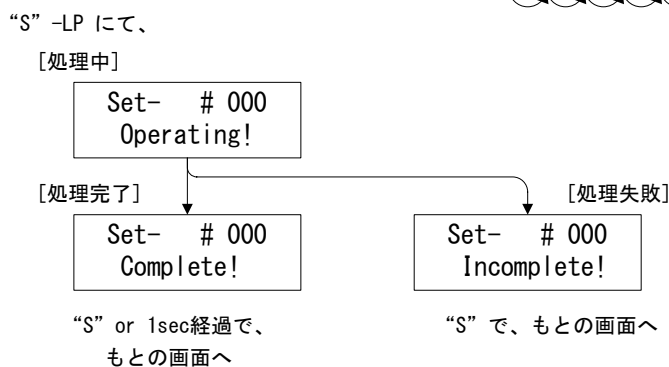
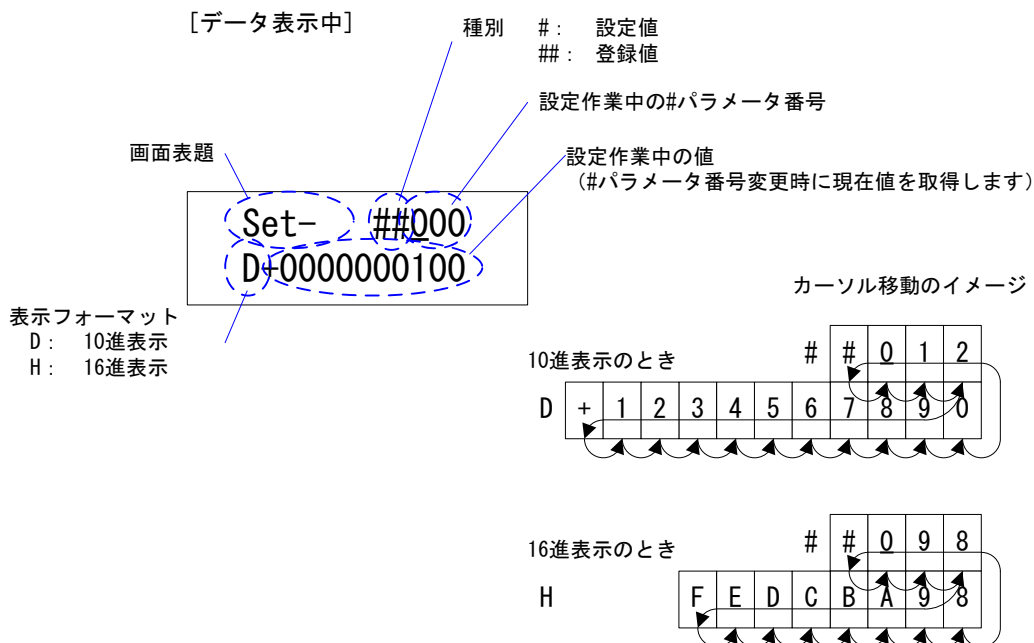
A.6 #パラメータ設定画面

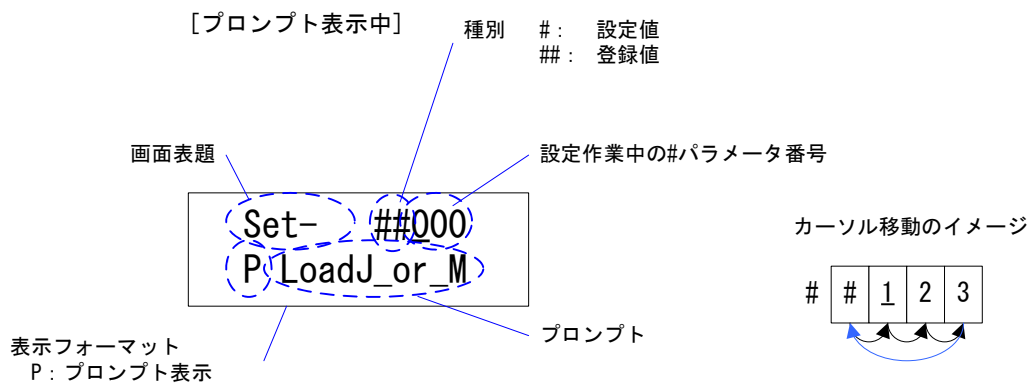
ドライバの#パラメータを変更するための画面です。

“SET” ボタンを長押しすることにより、ドライバに設定・登録が行われます。また、プロンプト表示状態では、#パラメータ設定はできません。データ表示に切り替えて設定・登録を行ってください。

また、電源投入後、専用コマンド設定画面にて設定・登録イネーブルコマンドを発行し、設定・登録を許可状態にした後、設定・登録を行ってください。

- “S” -LP : 画面上の内容にて設定・登録を行います。
種別が設定値の場合には設定が行われ、登録値の場合には登録が行われます。
- “▲” : カーソルが番号、値上にあるときに押されると、カーソル上の数値が大きくなります。カーソルが種別、符号上にあるときに押されると、種別、符号が切り替わります。
- “▼” : カーソルが番号、値上にあるときに押されると、カーソル上の数値が小さくなります。カーソルが種別、符号上にあるときに押されると、種別、符号が切り替わります。
- “▶” : パラメータ番号、値上のカーソルが右に移動します。
- “M” : データ表示とプロンプト表示を切り替えます。
- “M” : “M”
- ” -LP : 画面移行画面になります。





上の画面は、以下のような内容を表示しています。

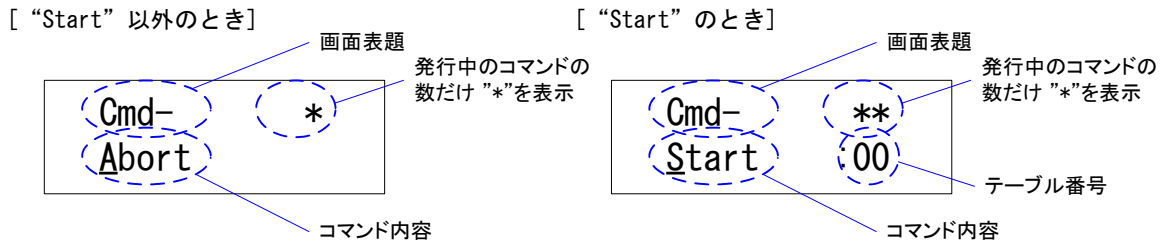
パラメータ 0番のプロンプトを表示していて、そのプロンプトは “LoadJ_or_M”

A.7 専用コマンド設定画面

選択されたコマンドをドライバに指令します。

コマンドを選択した後、“SET” ボタンを押すことにより、ドライバに指令が行われます。

設定・登録イネーブルコマンドによる設定・登録許可状態は、パネル通電中、パネル内部に記憶されます。



コマンド内容	画面表示	対応する@コマンド
アボート	“Abort”	@ 1
ストップ	“Stop”	@ 2
スタート	“Start”	@ 3 : テーブル番号
エラーリセット	“RstErr”	@ 4
操作権限切替 (シリアル通信側へ)	“toRS”	@ 5 : 0
操作権限切替 (CN4側へ)	“toIF”	@ 5 : 1
サーボオン	“SrvOn”	@ 8 : 1
サーボオフ	“SrvOff”	@ 8 : 0
原点オフセット設定 (近傍方向)	“OrgOffN”	@ 10 : 0
原点オフセット設定 (+方向)	“OrgOff+”	@ 10 : 1
原点オフセット設定 (-方向)	“OrgOff-”	@ 10 : -1
ジョグ+指令	“JogUp”	@ 11 : 1
ジョグ-指令	“JogDown”	@ 11 : -1
ジョグ停止指令	“JogStop”	@ 11 : 0
座標系クリア	“ClrCoord”	@ 13 : 0
積分リミッタ自動設定	“AutoIlim”	@ 14
全パラメータ登録	“RgstPrm”	@ 16
エラーリセット (エラー履歴クリア付)	“RstErrH”	@ 19
ドライバリセット	“RstDrv”	@ 96
設定・登録イネーブル	“SetRgsiE”	(ドライバに指令は行われません)

“S” : 選択されたコマンドをドライバに指令します。

“▲” : カーソルがコマンド選択上にあるときに押されると、コマンド内容が上方向に切り替わります。

カーソルがテーブル番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が大きくなります。

“▼” : カーソルがコマンド選択上にあるときに押されると、コマンド内容が下方向に切り替わります。

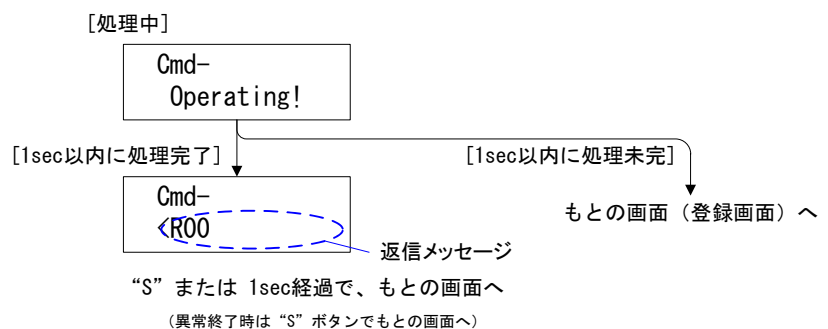
カーソルがテーブル番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が小さくなります。

“▶” : “Start” が選択されているときのみ、コマンド選択、テーブル番号上のカーソルが右に移動します。

カーソルがコマンド選択上にあるときに押されると、テーブル番号 10位に移動します。

“M” -LP : 画面移行画面になります。

“S” ボタンが押されると、



A.8 テーブルデータ設定画面

A.8.1 編集設定

ドライバに登録されているテーブルデータを編集設定するための画面です。

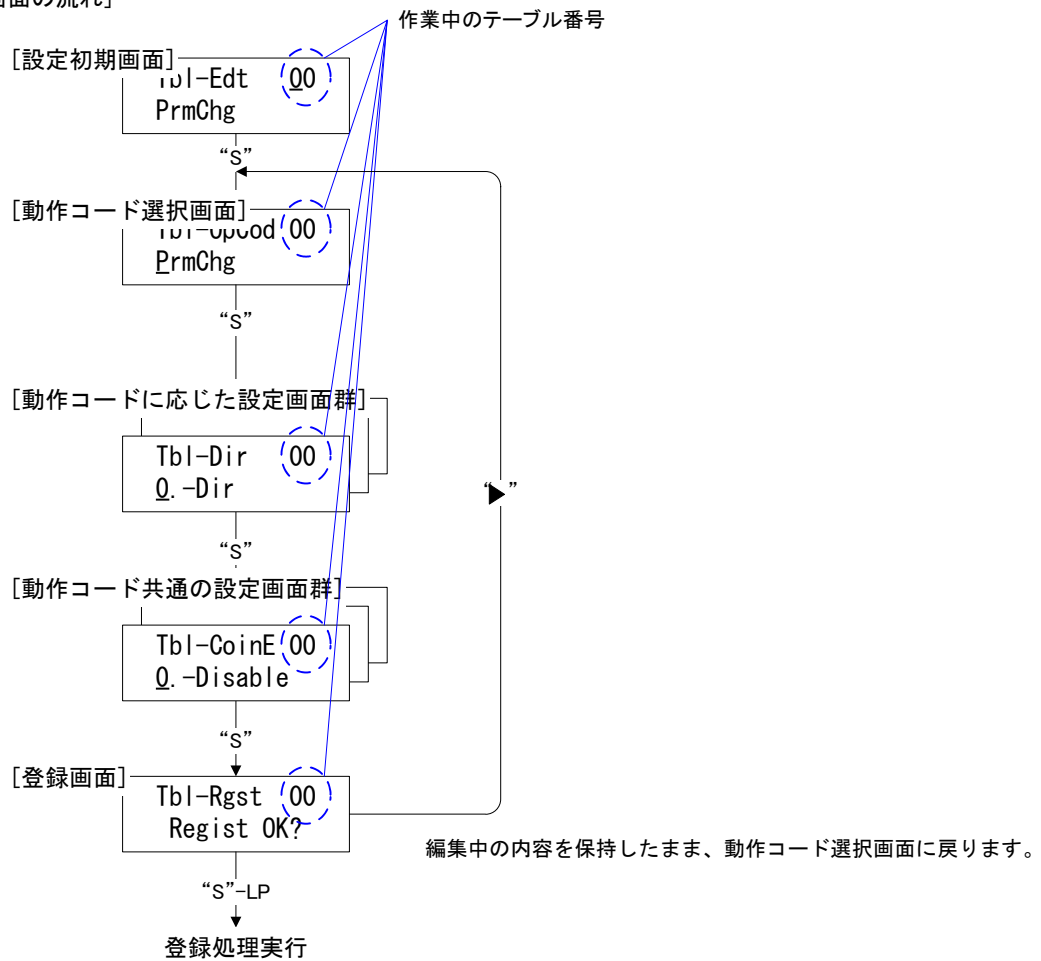
“SET” ボタンを押すと、設定画面が切り替わっていきます。それぞれの画面で設定を行いながら、登録画面まで進んでください。登録画面にて“SET” ボタンを長押しすることにより、ドライバに登録が行われます。

電源投入後、専用コマンド設定画面にて設定・登録イネーブルコマンドを発行し、設定・登録を許可状態にした後、登録を行ってください。

途中で登録作業を止めたいときは、“MODE” ボタンにて画面移行画面に移ってください。それまでの作業は全てキャンセルされます。

ドライバに登録されているテーブルデータを確認するときにも、この画面を使用します。各画面で設定内容を変更せず、設定内容を確認しながら、“SET” ボタンを押して行ってください。必要項目の確認がすんだら、“MODE” ボタンを長押しして画面移行画面に移ってください。ドライバへの登録は行われません。

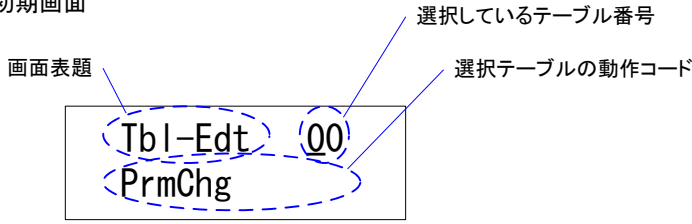
[画面の流れ]



補足

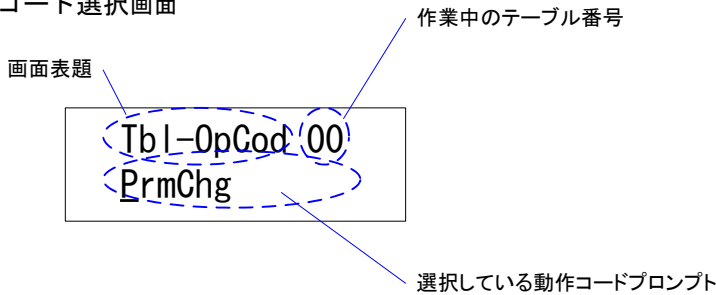
テーブル番号 60～63番のテーブルデータの、動作コードは変更できません。

(1) 設定初期画面



- “S” : 次の画面（動作コード選択画面）に移ります。
- “▲” : カーソル上の数値が大きくなります。
- “▼” : カーソル上の数値が小さくなります。
- “▶” : テーブル番号上のカーソルが右に移動します。1位上にあるときに押されると、10位に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

(2) 動作コード選択画面



[動作コード]

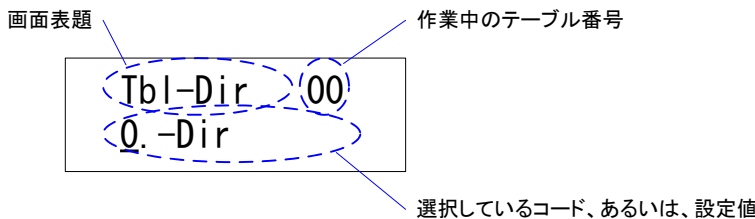
Test	テスト動作
A-Tune	オートチューニング
Homing	原点復帰
AbsMov	ABS移動
IncMov	INC移動
Dwell	ドウェル
PrmChg	パラメータ変更
Branch	条件分岐
Cmd	コマンド

- “S” : 次の画面（動作コードに応じた設定画面群の先頭）に移ります。
- “▲” : 動作コードの数字が大きくなる方向に、動作コードが切り替わります。
- “▼” : 動作コードの数字が小さくなる方向に、動作コードが切り替わります。
- “▶” : （機能しません）
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

テスト動作、オートチューニングには、動作コードに応じた設定画面群がありません。
 ” SET” ボタンが押されると、動作コード共通の設定画面群の先頭に移行します。

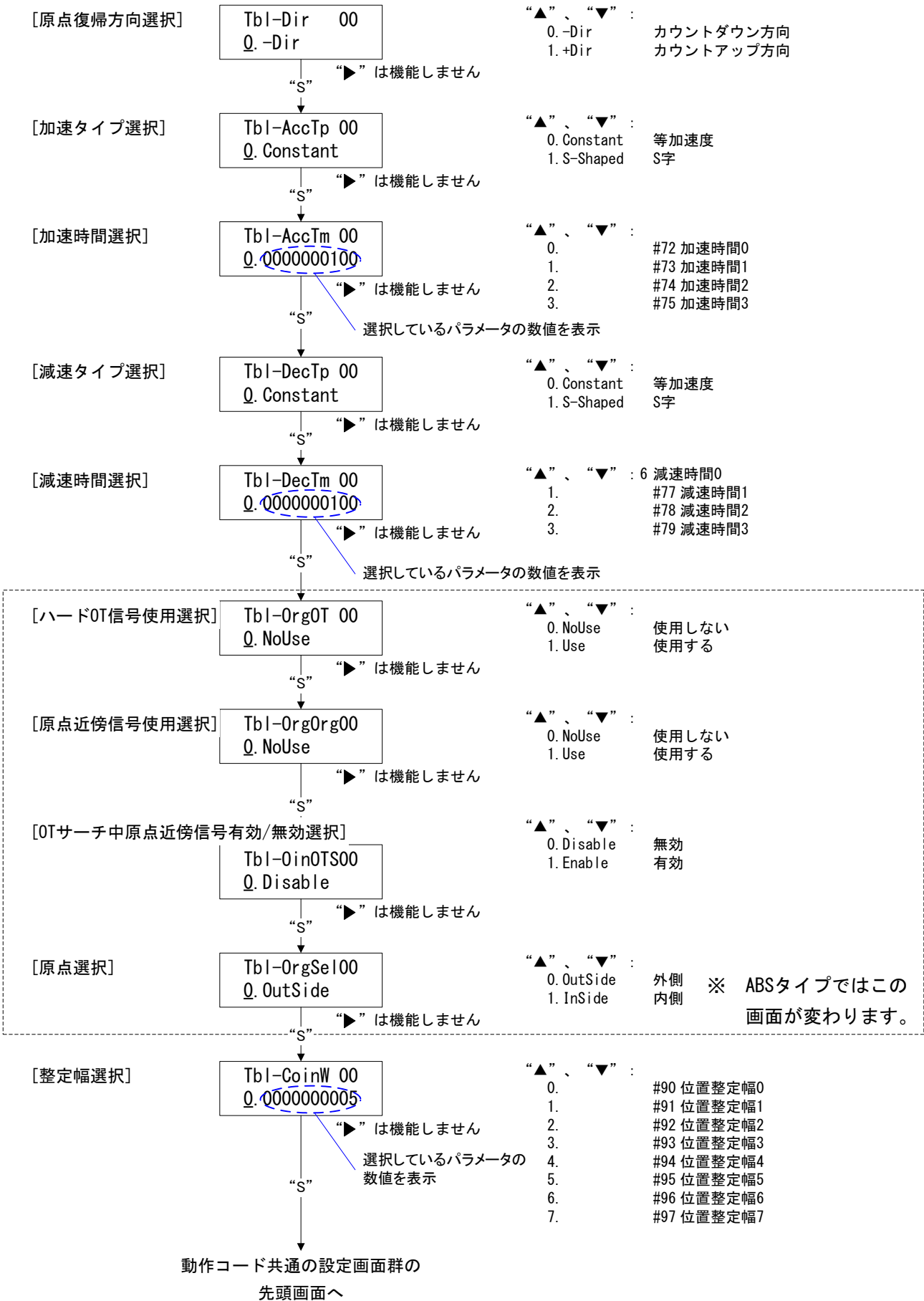
(3) 動作コードに応じた設定画面群

テスト動作、オートチューニングには、動作コードに応じた設定画面群はありません。



- “S” : 次の画面に移ります。
- “▲” : カーソル上の数字が大きくなるか、選択コードの数字が大きくなる方向に切り替わります。
- “▼” : カーソル上の数字が小さくなるか、選択コードの数字が小さくなる方向に切り替わります。
- “▶” : カーソルが右に移動します。画面内容により機能する場合と、機能しない場合があります。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

■ 原点復帰 (INCタイプの場合)



■ 原点復帰 (ABSタイプの場合)

[原点復帰方向選択]

Tbl-Dir 00
Q. -Dir

“▲”、“▼” :
0. -Dir カウントダウン方向
1. +Dir カウントアップ方向

“s” “▶” は機能しません

[加速タイプ選択]

Tbl-AccTp 00
Q. Constant

“▲”、“▼” :
0. Constant 等加速度
1. S-Shaped S字

“s” “▶” は機能しません

[加速時間選択]

Tbl-AccTm 00
Q. 0000000100

“▲”、“▼” :
0. #72 加速時間0
1. #73 加速時間1
2. #74 加速時間2
3. #75 加速時間3

“▶” は機能しません
“s” 選択しているパラメータの数値を表示

[減速タイプ選択]

Tbl-DecTp 00
Q. Constant

“▲”、“▼” :
0. Constant 等加速度
1. S-Shaped S字

“s” “▶” は機能しません

[減速時間選択]

Tbl-DecTm 00
Q. 0000000100

“▲”、“▼” : 6 減速時間0
1. #77 減速時間1
2. #78 減速時間2
3. #79 減速時間3

“▶” は機能しません
“s” 選択しているパラメータの数値を表示

[回転座標時移動方向選択]

Tbl-DirOp 00
Q. Type0

“▲”、“▼” :
0. Type0 近回り
1. Type1 原点をまたがない
2. Type2 データ依存
3. Type3 回転方向固定+
4. Type4 回転方向固定-

“▶” は機能しません

“s”

※ INCタイプではこの画面が変わります。

[整定幅選択]

Tbl-CoinW 00
Q. 0000000005

“▲”、“▼” :
0. #90 位置整定幅0
1. #91 位置整定幅1
2. #92 位置整定幅2
3. #93 位置整定幅3
4. #94 位置整定幅4
5. #95 位置整定幅5
6. #96 位置整定幅6
7. #97 位置整定幅7

“▶” は機能しません
“s” 選択しているパラメータの数値を表示

動作コード共通の設定画面群の
先頭画面へ

■ ABS移動、INC移動

[加速タイプ選択]

Tbl-AccTp 00
Q. Constant

“▲”、“▼” :
0. Constant 等加速度
1. S-Shaped S字

“▶” は機能しません

[加速時間選択]

Tbl-AccTm 00
Q. 0000000100

“▲”、“▼” :
0. #72 加速時間0
1. #73 加速時間1
2. #74 加速時間2
3. #75 加速時間3

“▶” は機能しません
“s” 選択しているパラメータの数値を表示

[減速タイプ選択]

Tbl-DecTp 00
Q. Constant

“▲”、“▼” :
0. Constant 等加速度
1. S-Shaped S字

“▶” は機能しません

[減速時間選択]

Tbl-DecTm 00
Q. 0000000100

“▲”、“▼” :
0. #76 減速時間0
1. #77 減速時間1
2. #78 減速時間2
3. #79 減速時間3

“▶” は機能しません
“s” 選択しているパラメータの数値を表示

[速度選択]

Tbl-Vel 00
Q. 0000360000

“▲”、“▼” :
0. #64 送り速度0
1. #65 送り速度1
2. #66 送り速度2
3. #67 送り速度3
4. #68 送り速度4
5. #69 送り速度5
6. #70 送り速度6
7. #71 送り速度7

“▶” は機能しません
“s” 選択しているパラメータの数値を表示

[値指定選択]

Tbl-ValTp 00
Q. Direct

“▲”、“▼” :
0. Direct 直接指定
1. Indirect 間接指定

“▶” は機能しません

[値設定]

直接指定時 Tbl-MovVal00 (+)0000090000
間接指定時 Tbl-MovPrm00 #100

パラメータ・モニタ番号
(設定値のみ参照可)

“▲”、“▼” : 符号、種別切替
値、パラメータ・モニタ番号増減
“▶” : カーソル右移動

[回転座標時移動方向選択]

Tbl-DirOp 00
Q. Type0

“▲”、“▼” :
0. Type0 近回り
1. Type1 原点をまたがない
2. Type2 データ依存
3. Type3 回転方向固定+
4. Type4 回転方向固定-

“▶” は機能しません

[整定幅選択]

Tbl-CoinW 00
Q. 0000000005

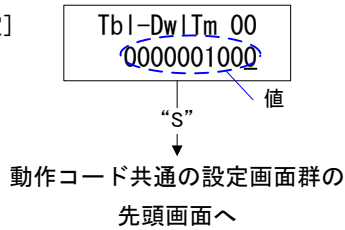
“▲”、“▼” :
0. #90 位置整定幅0
1. #91 位置整定幅1
2. #92 位置整定幅2
3. #93 位置整定幅3
4. #94 位置整定幅4
5. #95 位置整定幅5
6. #96 位置整定幅6
7. #97 位置整定幅7

“▶” は機能しません
“s” 選択しているパラメータの数値を表示

動作コード共通の設定画面群の
先頭画面へ

■ ドウェル

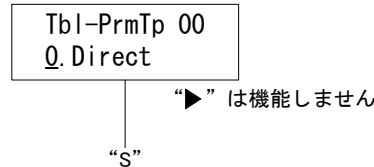
[ドウェル時間設定]



“▲”、“▼” : 値増減
 “▶” : カーソル右移動

■ パラメータ変更

[タイプ選択]



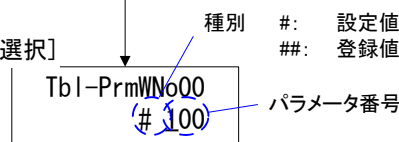
“▲”、“▼” :
 0. Direct 直接
 1. Indirect 間接
 2. Single1 単項1
 3. Single2 単項2
 4. Double1 二項1
 5. Double2 二項2
 6. Double3 二項3

[演算子選択]



“▲”、“▼” :
 0. + Add 加算 単項演算不可
 1. - Sub 減算 可(負号)
 2. * Mul 乗算 不可
 3. / Div 除算 不可
 4. % Mod 剰余 不可
 8. & bitAnd ビット論理積 不可
 9. ^ bitExor ビット排他的論理和 不可
 A. | bitOr ビット論理和 不可
 C. ~ bitInv ビット反転 可

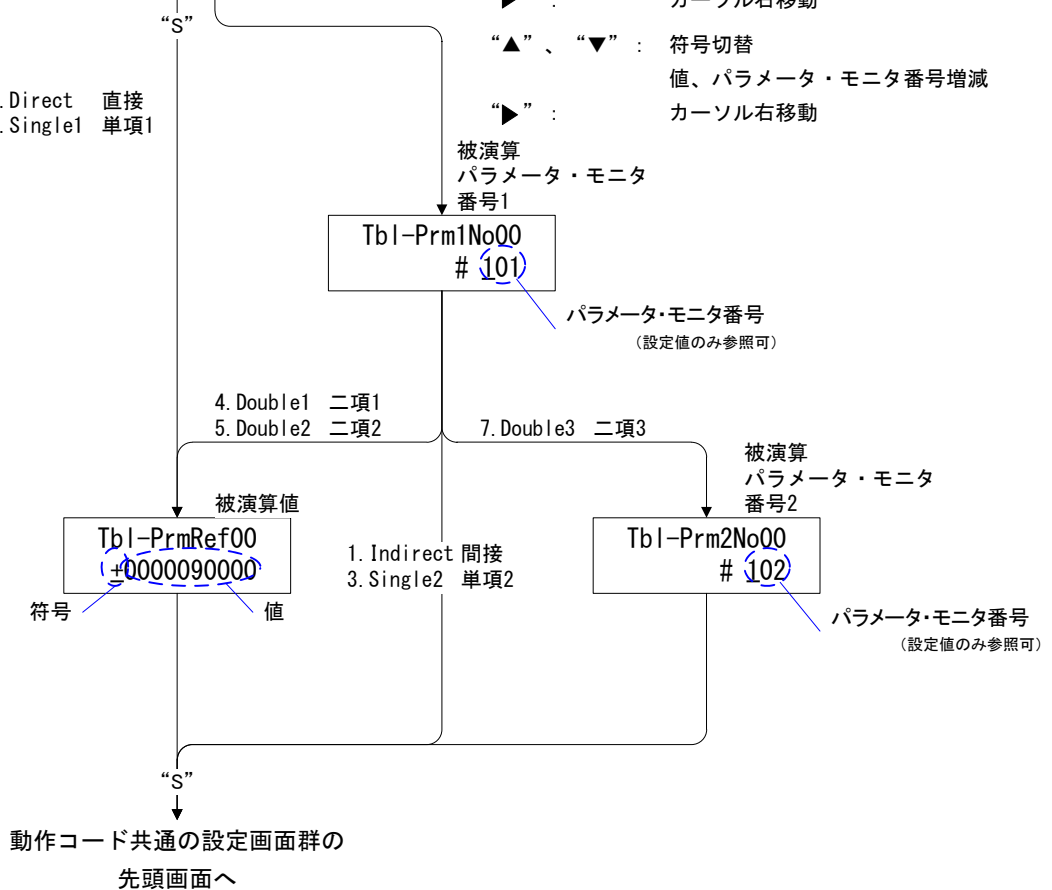
[被代入パラメータ番号選択]



“▲”、“▼” : 種別切替
 “▶” : パラメータ番号増減
 “▶” : カーソル右移動

[代入式設定]

0. Direct 直接
 2. Single1 単項1



“▲”、“▼” : 符号切替
 “▶” : 値、パラメータ・モニタ番号増減
 “▶” : カーソル右移動

例	タイプ		演算子コード		被代入 パラメータ番号	被演算値	被演算 パラメータ・モニタ 番号1	被演算 パラメータ・モニタ 番号2
	例		例					
#12 = 34	直接代入	0	don't care	0	12	34	-	-
#12 = #34	間接代入	1		0	12	-	34	-
#12 = ~34	単項演算代入1	2	要 設定 (単項演算子)	8	12	34	-	-
#12 = -#34	単項演算代入2	3		1	12	-	34	-
#12 = 34 + #56	二項演算代入1	4	要 設定 (二項演算子)	0	12	34	56	-
#12 = #34 & #56	二項演算代入2	5		5	12	56	34	-
#12 = #34 / #56	二項演算代入3	6		3	12	-	34	34

■ 条件分岐

[比較演算子選択]

Tbl-BrCod 00
Q. >

“▶” は機能しません

“s”

[条件成立時番号選択]

Tbl-BrNo 00
01 Branch

条件成立時分岐先テーブル番号

選択している分岐先テーブル番号の動作コード

“s”

[被比較パラメータ・モニタ番号選択] 左辺

Tbl-Br1No 00
101

パラメータ・モニタ番号
(設定値のみ参照可)

“s”

[基準パラメータ・モニタ番号選択] 右辺

Tbl-Br2No 00
102

パラメータ・モニタ番号
(設定値のみ参照可)

“s”

動作コード共通の設定画面群の
先頭画面へ

- “▲”、“▼” :
- 0.> 大なり
 - 1.< 小なり
 - 2.>= 大なりイコール
 - 3.<= 小なりイコール
 - 4.= Eq イコール
 - 5.!= NotEq ノットイコール
 - 6.&& And 論理積
 - 7.|| Or 論理和
 - 8.& bitAnd ビット論理積
 - 9.^ bitExor ビット排他的論理和
 - A.| bitOr ビット論理和

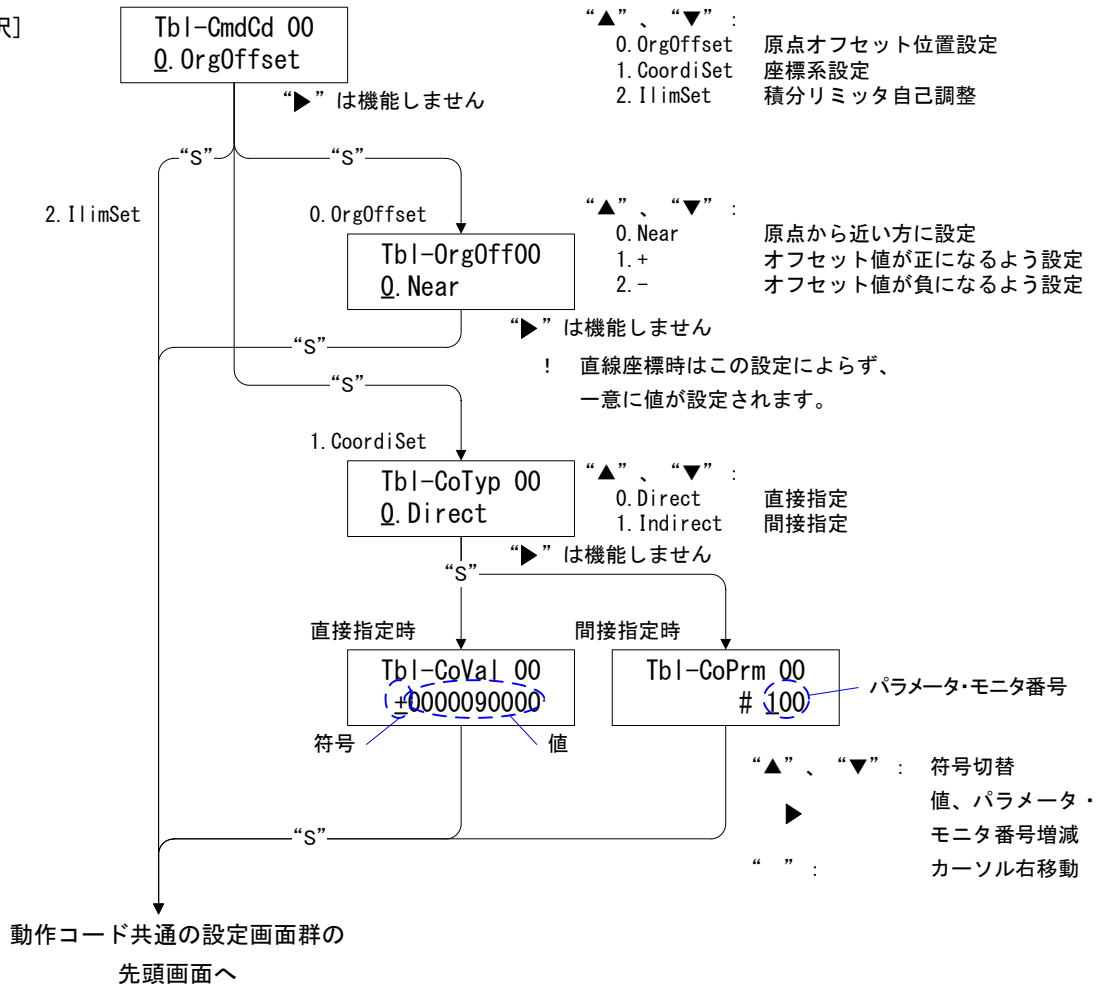
- “▲”、“▼” : テーブル番号増減
“▶” : カーソル右移動

- “▲”、“▼” : パラメータ・モニタ番号増減
“▶” : カーソル右移動

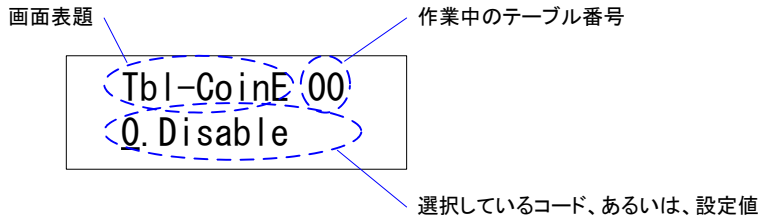
- “▲”、“▼” : パラメータ・モニタ番号増減
“▶” : カーソル右移動

■ コマンド

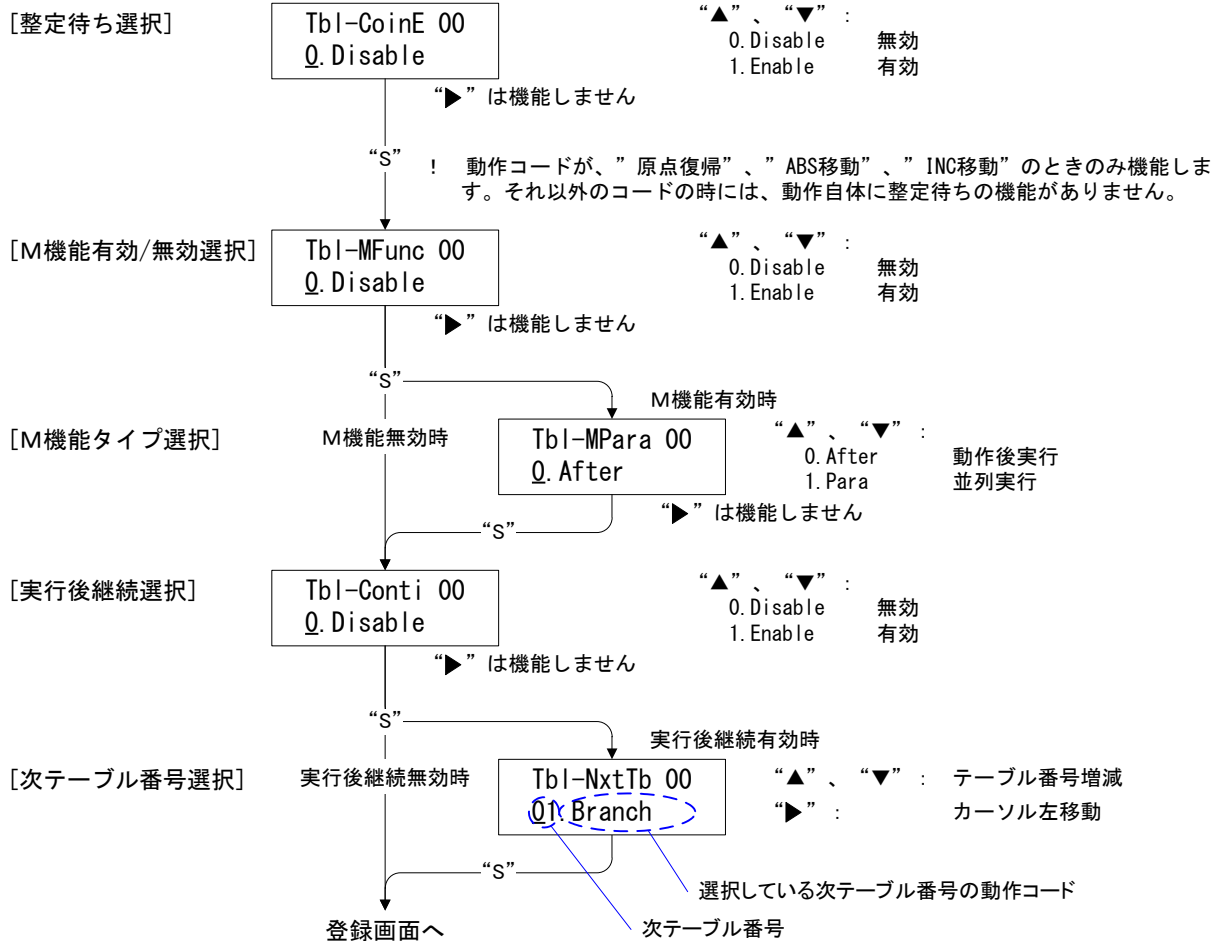
[コマンド選択]



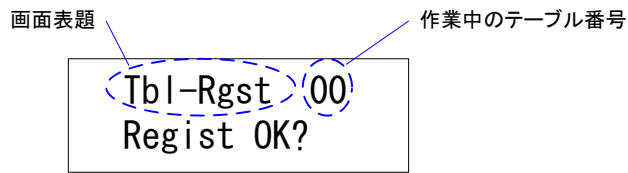
(4) 動作コード共通の設定画面群



- “S” : 次の画面に移ります。
- “▲” : カーソル上の数字が大きくなるか、選択コードの数字が大きくなる方向に切り替わります。
- “▼” : カーソル上の数字が小さくなるか、選択コードの数字が小さくなる方向に切り替わります。
- “▶” : カーソルが右に移動します。画面内容により機能する場合と、機能しない場合があります。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。



(5) 登録画面



- “S” -LP : 編集中の内容をドライバに登録します。
- “▶” : 動作コードに応じた設定画面群の先頭画面に戻ります。編集中の内容は、編集データとして保持されています。
- “▲” : (機能しません)
- “▼” : (機能しません)
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

“S” -LP にて、

[処理中]

Tbl-Rgst 00
Operating!

[処理完了]

Tbl-Rgst 00
Complete!

[処理失敗]

Tbl-Rgst 00
Incomplete!

“S” または 1sec経過で、
設定初期画面へ

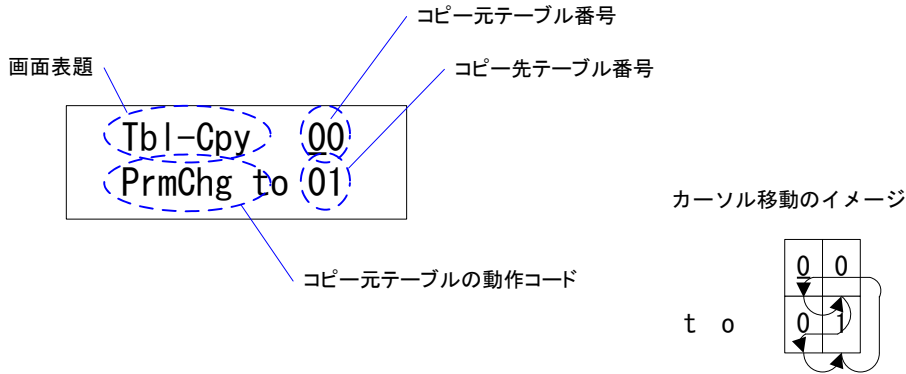
“S” にて、
もとの画面 (登録画面) へ

A.8.2 コピー

ドライバに登録されているテーブルデータをコピーするための画面です。

“SET” ボタンを長押しすると、テーブルデータのコピーが行われます。止めたいときは、“MODE” ボタンを長押しして画面移行画面に移ってください。

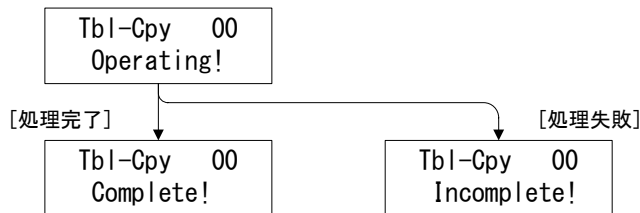
電源投入後、専用コマンド設定画面にて設定・登録イネーブルコマンドを発行し、設定・登録を許可状態にした後、コピーを行ってください。



- “S” -LP : 画面上の内容にて、コピーを行います。
- “▲” : カーソル上の数値が大きくなります。
- “▼” : カーソル上の数値が小さくなります。
- “▶” : カーソルが右に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

“S” -LP にて、

[処理中]



“S” または 1sec経過で、
もとの画面へ

“S” にて、もとの画面へ

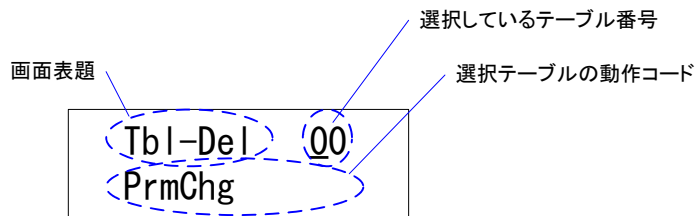
A. 8.3 削除

ドライバに登録されているテーブルデータを削除するための画面です。

“SET” ボタンを押すと、テーブルデータの削除が行われます。削除されたテーブルは、ドウェル（待ち時間0msec）にて登録されます。

電源投入後、専用コマンド設定画面にて設定・登録イネーブルコマンドを発行し、設定・登録を許可状態にした後、削除を行ってください。

削除を止めたいときは、“MODE” ボタンを長押しして画面移行画面に移ってください。



- “S” -LP : 選択されたテーブルを削除します。
- “▲” : カーソル上の数値が大きくなります。
- “▼” : カーソル上の数値が小さくなります。
- “▶” : テーブル番号上のカーソルが左に移動します。1位上にあるときに押されると、10位に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

“S” -LP にて、

[処理中]

Tbl-Del 00
Operating!

[処理完了]

Tbl-Del 00
Complete!

[処理失敗]

Tbl-Del 00
Incomplete!

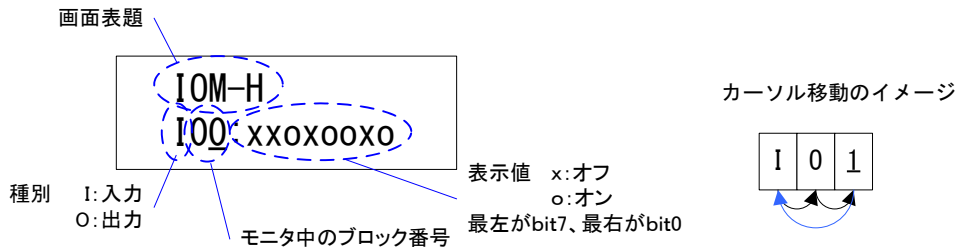
“S” または 1sec経過で、
もとの画面へ

“S” にて、もとの画面へ

A.9 I/Oモニタ画面

A.9.1 ハード I/O

ドライバから周期的（約200msec）に指定されたブロック番号のハード I/O の現在の状態を取得し、繰り返し表示します。



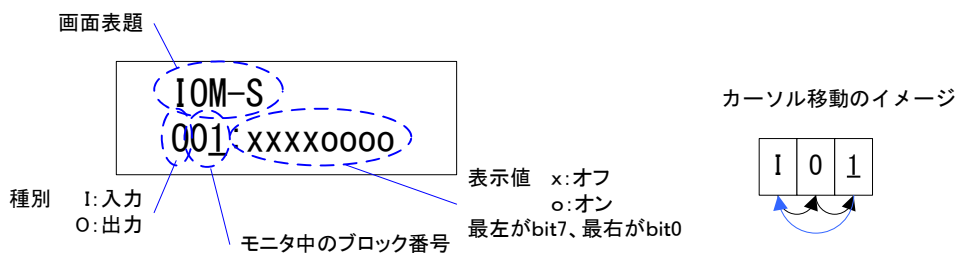
- “S” : (機能しません)
- “▲” : カーソルがブロック番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が大きくなります。カーソルが種別上にあるときに押されると、種別が切り替わります。
- “▼” : カーソルがブロック番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が小さくなります。カーソルが種別上にあるときに押されると、種別が切り替わります。
- “▶” : 種別、ブロック番号上のカーソルが右に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

上の画面は、以下のような内容を表示しています。

ハード入力ブロック0の状態をモニタしていて、bit0、2、3、5 がオン、その他はオフ

A.9.2 ソフト I/O

ドライバから周期的（約200msec）に指定されたブロック番号のソフト I/O の現在の状態を取得し、繰り返し表示します。



- “S” : (機能しません)
- “▲” : カーソルがブロック番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が大きくなります。カーソルが種別上にあるときに押されると、種別が切り替わります。
- “▼” : カーソルがブロック番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が小さくなります。カーソルが種別上にあるときに押されると、種別が切り替わります。
- “▶” : 種別、ブロック番号上のカーソルが右に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

上の画面は、以下のような内容を表示しています。

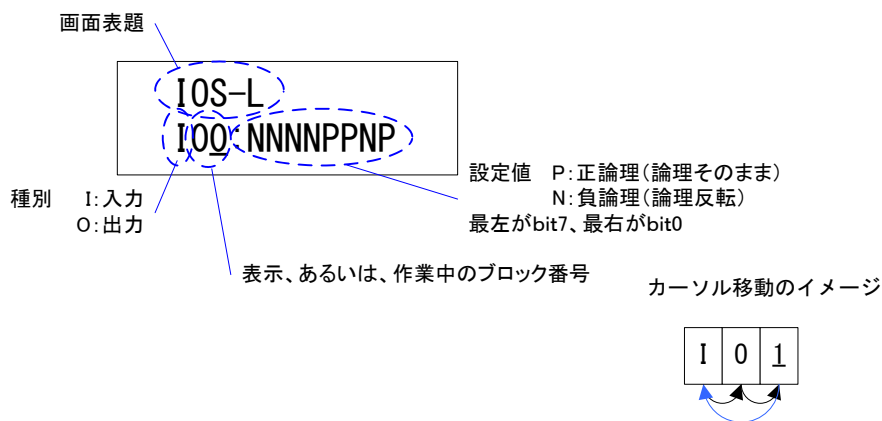
ソフト出力ブロック1の状態をモニタしていて、bit0、1、2、3 がオン、その他はオフ

A. 10 I / O 設定確認画面

A. 10.1 ハード I / O 論理確認

ドライバのハード I / O の論理設定を確認するための画面です。

操作表示パネルでは、ハード I / O 論理設定を行うことはできません。ハード I / O 論理設定は、支援ツール、操作表示ペンダント（別売）を使用して行ってください。

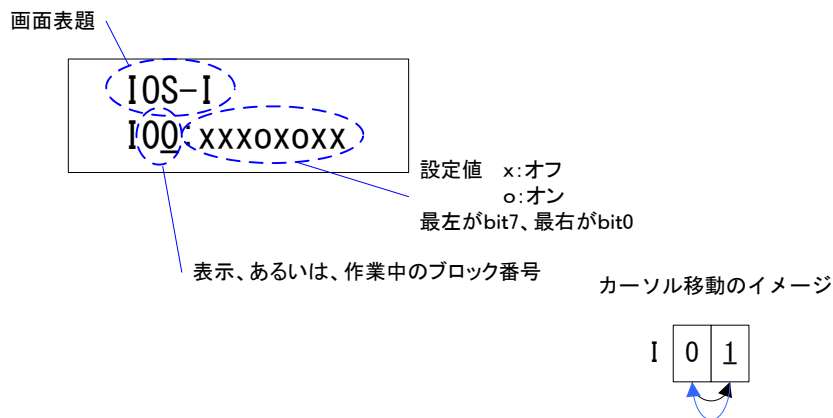


- “S” : (機能しません)
- “▲” : カーソルがブロック番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が大きくなります。カーソルが種別、値上にあるときに押されると、種別、値が切り替わります。
- “▼” : カーソルがブロック番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が小さくなります。カーソルが種別、値上にあるときに押されると、種別、値が切り替わります。
- “▶” : 種別、ブロック番号、値上のカーソルが右に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

A. 10.2 ソフト I/O 入力初期値確認

ドライバのソフト I/O 入力の初期値設定を確認するための画面です。

操作表示パネルでは、ソフト I/O 入力初期値設定を行うことはできません。ソフト I/O 入力初期値設定は、支援ツール、操作表示ペンダント（別売）を使用して行ってください。

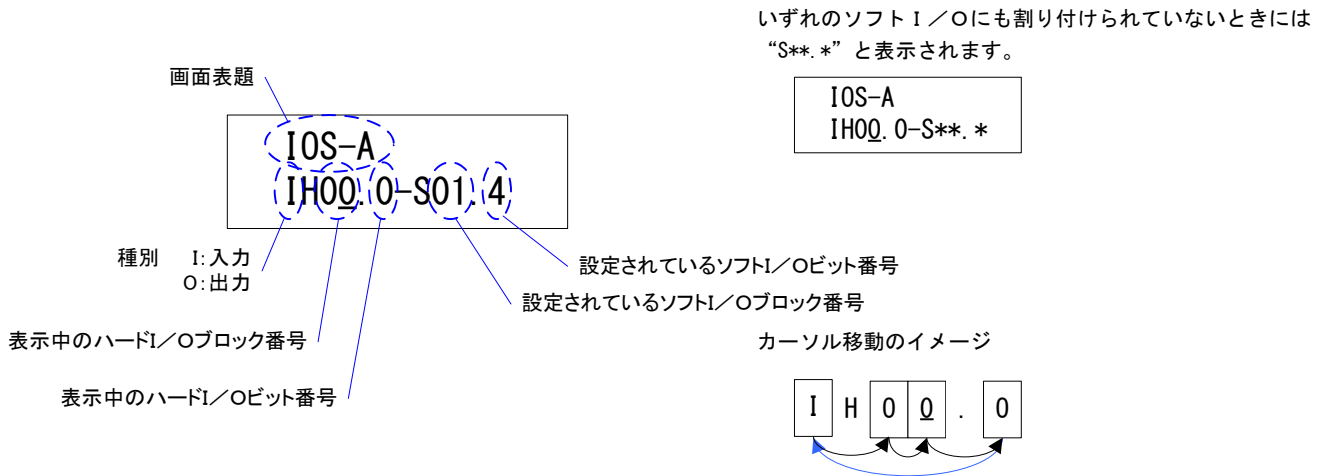


- “S” : (機能しません)
- “▲” : カーソルがブロック番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が大きくなります。カーソルが値上にあるときに押されると、値が切り替わります。
- “▼” : カーソルがブロック番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が小さくなります。カーソルが値上にあるときに押されると、値が切り替わります。
- “▶” : ブロック番号、値上のカーソルが右に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

A. 10.3 端子割付確認

ドライバの端子割付設定を確認するための画面です。

操作表示パネルでは、端子割付設定を行うことはできません。端子割付設定は、支援ツール、操作表示ペンダント（別売）を使用して行ってください。



- “S” : (機能しません)
- “▲” : カーソルがハードI/Oブロック番号、ハードI/Oビット番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が大きくなります。
カーソルが種別上にあるときに押されると、種別が切り替わります。
- “▼” : カーソルがハードI/Oブロック番号、ハードI/Oビット番号上にあるときに押されると、カーソル上の数値が小さくなります。
カーソルが種別上にあるときに押されると、種別が切り替わります。
- “▶” : 種別、ハードI/Oブロック番号、ハードI/Oビット番号上のカーソルが右に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

上の画面は、以下のような内容を表示しています。

ハードI/O入力ブロック0ービット0は、ソフトI/O入力ブロック1ービット4に割付設定されている

A.11 アブソリュートエンコーダ保守画面

アブソリュートエンコーダスケュー値は、お客様が変更する必要のないデータです。このデータを変更しないでください。

※ INCタイプではこの画面はありません



警告

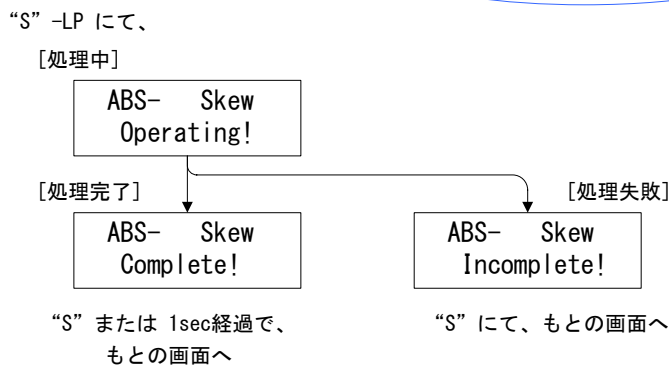
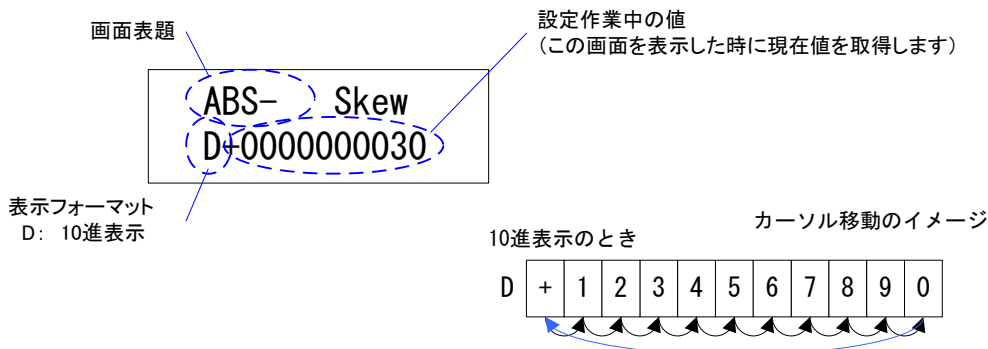
データを変更しないでください。誤ったデータを登録すると、モータが動かない、あるいは位置の認識を誤る等の不具合の原因となります。

アブソリュート位置検出器のアブソリュートエンコーダスケュー値を保守対象とします。この画面を表示させると、現在ドライバに登録されている値が表示されます。

“S” ボタンを長押しすると、ドライバに登録されます。

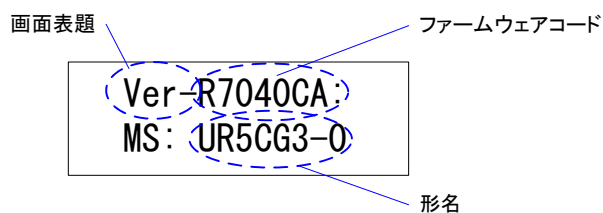
設定・登録が許可状態のとき、設定・登録が可能です。

- “S” -LP : 画面上の内容にて登録を行います。
- “▲” : カーソルが値上にあるときに押されると、カーソル上の数値が大きくなります。カーソルが符号上にあるときに押されると、符号が切り替わります。
- “▼” : カーソルが値上にあるときに押されると、カーソル上の数値が小さくなります。カーソルが符号上にあるときに押されると、符号が切り替わります。
- “▶” : パラメータ番号、値上のカーソルが右に移動します。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。



A.12 バージョン表示画面

ドライバの設計バージョン、形名を表示します。



- “S” : (機能しません)
- “▲” : (機能しません)
- “▼” : (機能しません)
- “▶” : ファームウェアコード、形名表示を左にスクロールします。
末尾まで表示している（末尾に “*” を表示）時に押されると最初の表示に戻ります。
- “M” -LP : 画面移行画面になります。

上の画面は、以下のような内容を表示しています。

ファームウェアコードの最初の8文字は、 ” R 7 0 4 0 C A : ”
形名の最初の8文字は ” U R 5 C G 3 - 0 ”

B. トラブルシューティング

B.1 おかしいと思ったら

現象	原因	処置
「ComDown」と表示され、通信ができない。	①操作表示パネルとサーボドライバの接触不良	①いったんサーボドライバの電源を切り、操作表示パネルがサーボドライバに確実にはめ込まれているか確認してください。
画面表示が暗くなった。 または、画面に文字が表示されない。	②操作表示パネル、あるいはサーボドライバの故障	②上記①で現象が解消されない場合は、操作表示パネル、あるいはサーボドライバを交換してください。

◆ 改訂履歴

資料名称 : 操作表示パネル PC100G3 機能説明書

資料番号 : TI 71M07B00-01

2003年10月／初版

新規発行

2004年3月／第2版

全ページ 体裁、語句修正

A-1 ABS記述追加

A-2 外観図更新

A-3 ABS記述追加

A-11 (2) 表題「動作コード選択画面」訂正

A-12 INC記述に修正

A-13 ABS記述のページ追加、A-13以降順次ページ数変更

A-21 1行目「コピー」を「削除」に訂正

A-26 「A. 11 アブソリュートエンコーダ保守画面」をページ追加、以降順次ページ数、見出し番号変更

2011年9月／第3版

B-1、目次 「B. トラブルシューティング」 「B. 1おかしいと思ったら」を追加